

東証(TSE):6264

株式会社マルマエ

2024年8月期決算 補足資料及び中期事業計画修正資料

2024年10月11日

総合力で未来を拓く
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2023年8月期 累計期間		2024年8月期 累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高	5,167	—	5,197	—	0.6
受注残高	1,101	—	1,688	—	53.4
売上高	6,868	100.0	4,749	100.0	△30.9
売上原価	5,284	76.9	3,916	82.5	△25.9
売上総利益	1,583	23.1	832	17.5	△47.4
販売管理費	723	10.5	675	14.2	△6.7
営業利益	859	12.5	156	3.3	△81.8
経常利益	789	11.5	42	0.9	△94.6
特別損益	208	3.0	0	0.0	0.0
当期純利益	706	10.3	19	0.4	△97.2
EPS (円)	55.92	—	1.55	—	△97.2

Point

①受注状況

- 半導体分野：3,794百万円
(対前年同期：13.4%増)
- F P D分野：1,314百万円
(対前年同期：72.6%増)
- その他分野：88百万円
(対前年同期：91.7%減)

②売上高

- 対前年同期30.9%の減少
(分野別の詳細は次頁)

③売上原価

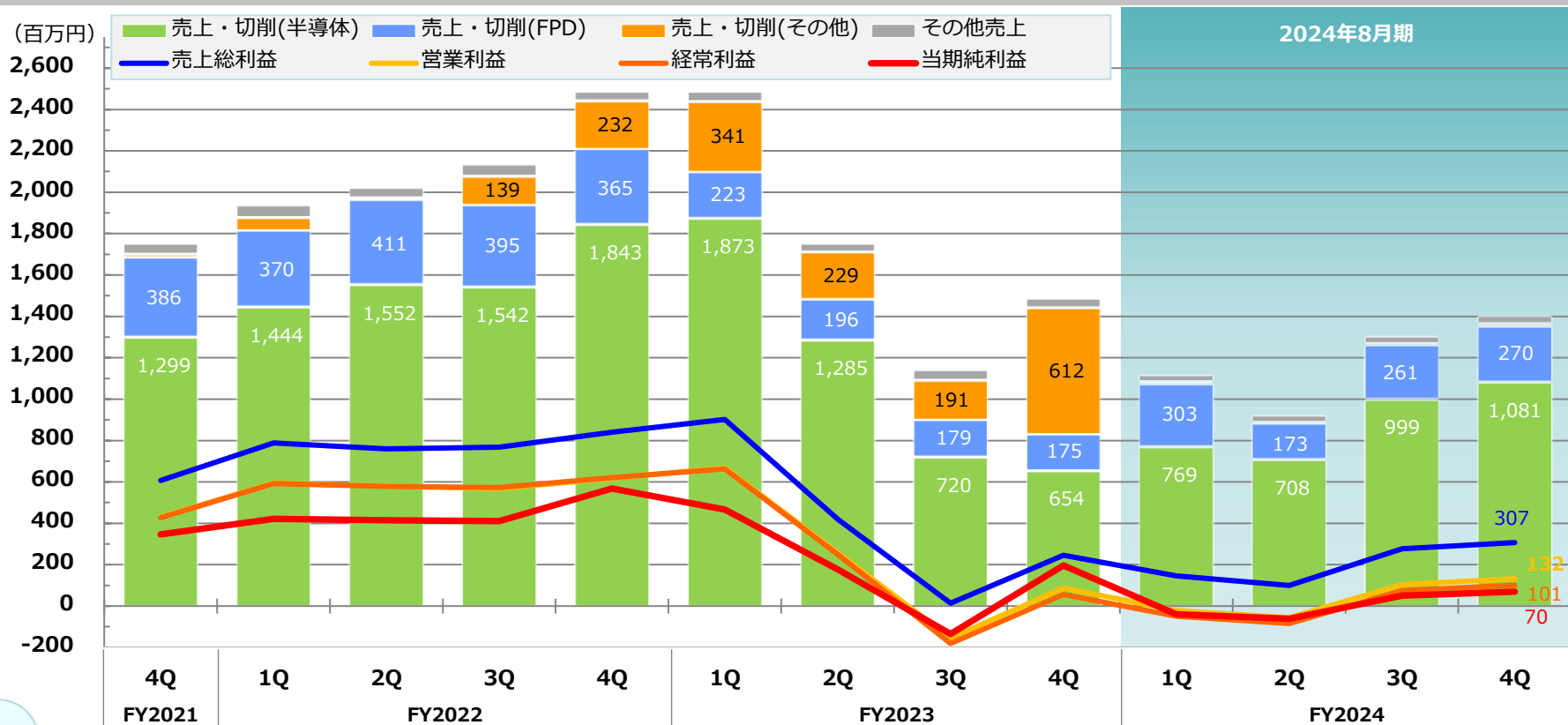
- 材料費：788百万円
(対前年同期：30.9%減)
- 外注加工費：509百万円
(対前年同期：40.4%減)
- 労務費：1,297百万円
(対前年同期：12.1%減)

④販売管理費

- 研究開発費：55百万円
(対前年同期：34.8%減)
- 販管人件費：360百万円
(対前年同期：4.6%減)

1. 決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体分野回復で増収傾向

- 半導体分野：3,558百万円（対前年同期：21.5%減）
 - ・在庫調整進展で消耗品受注拡大。新規も伸びる
- FPD分野：1,008百万円（対前年同期：30.2%増）
 - ・OLED向けが好調で受注堅調

■その他分野：41百万円（対前年同期：97.0%減）

- ・太陽電池製造装置部品の引き合い続くも未受注

②損益面は売上回復と稼働率改善等で改善傾向

- ・前期末比で受注損失引当金等は46百万円減少（改善）
- ・設備投資と人員採用を抑制し製造費用低減

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

1. 決算概要

B/S分析

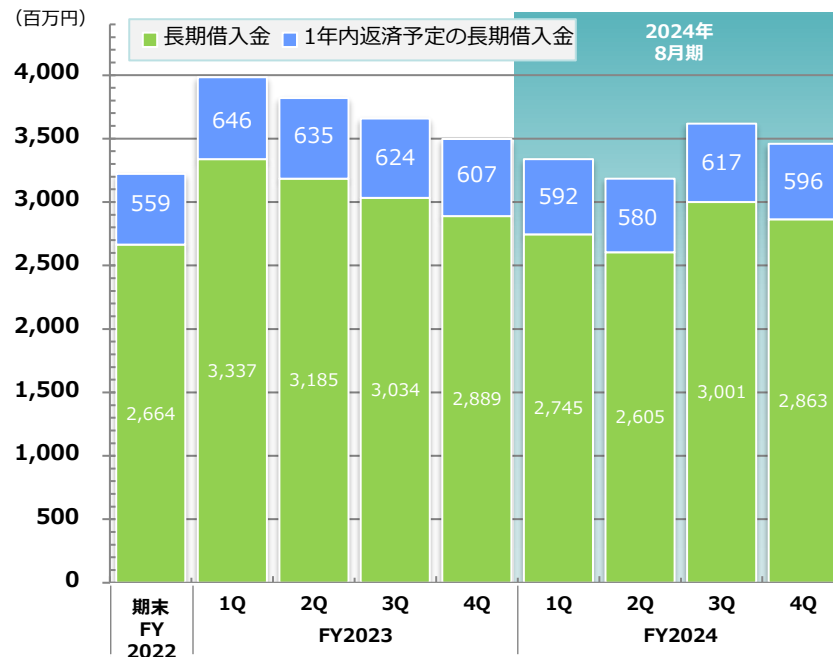
B/S

	2023年8月期 会計年度末 (百万円)	2024年8月期 会計年度末 (百万円)
流動資産	5,448	5,572
現金及び預金	3,496	3,028
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	982	1,591
棚卸資産	813	826
固定資産	6,163	5,891
建物・土地	2,537	2,453
機械及び装置	3,271	2,638
流動負債	1,165	1,348
有利子負債(短期)※	607	596
固定負債	2,973	2,952
長期借入金	2,889	2,863
負債合計	4,138	4,300
純資産合計	7,473	7,163
総資産	11,612	11,464

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：11,464百万円(前期末比:147百万円減少)**
 - ・現金及び預金：468百万円減少
 - ・有形固定資産：287百万円減少
- ② **負債：4,300百万円(前期末比:162百万円増加)**
 - ・未払金：136百万円増加
 - ・買掛金：86百万円増加
- ③ **純資産：7,163百万円(前期末比:310百万円減少)**
 - ・利益剰余金：334百万円減少
 - ・自己株式の処分により24百万円増加
 - ・自己資本比率：64.4% → 62.5%



2. 事業環境

今後の販売分野別の環境と方針等

半導体分野

- ◆ DRAM好調。NAND再開。MPUロジック先送り
- ◆ 在庫整理進み消耗品好調。新規顧客も受注品種拡大
- ◆ 不足設備の拡充と人員採用急ぐ

FPD分野

- ◆ IT機器向けG8 OLED設備投資拡大。2026年液晶も計画
- ◆ 生産平準化のため前倒しして生産開始。1年以上は高水準見通し
- ◆ EBW活かしたシェア拡大戦略継続

その他分野

- ◆ 中国PV ※向けの引き合い多いが予算織り込み困難
- ◆ 新型太陽電池装置の試作品受注
- ◆ 余力活用のため、幅広い分野への営業活動進める

※…Photovoltaic（光起発電）の略。太陽光発電のことを指す

3. 2025年8月期の業績予想

来期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

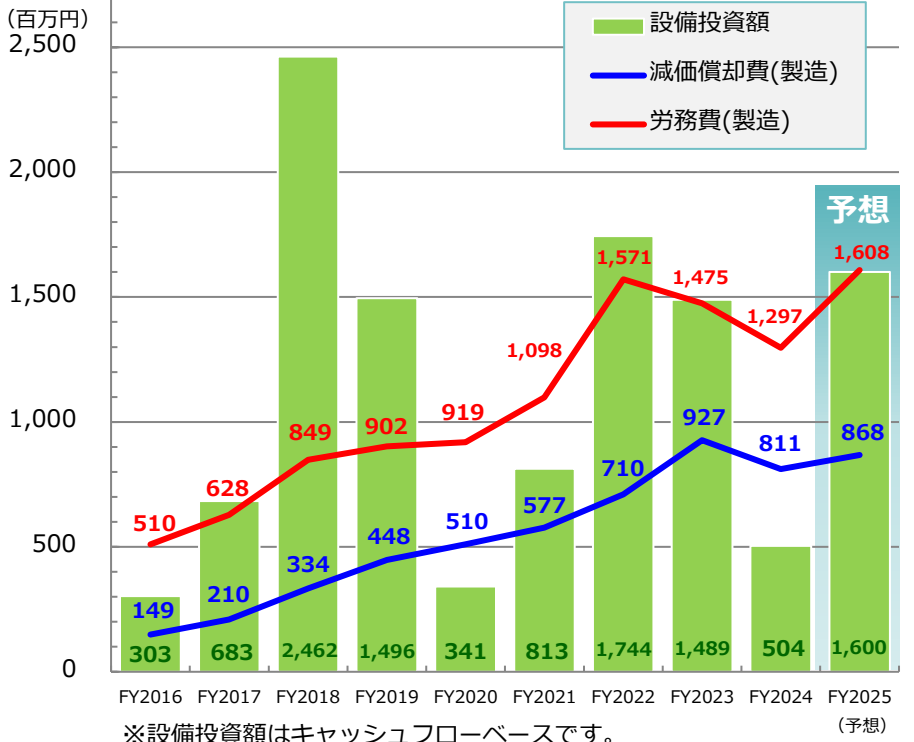
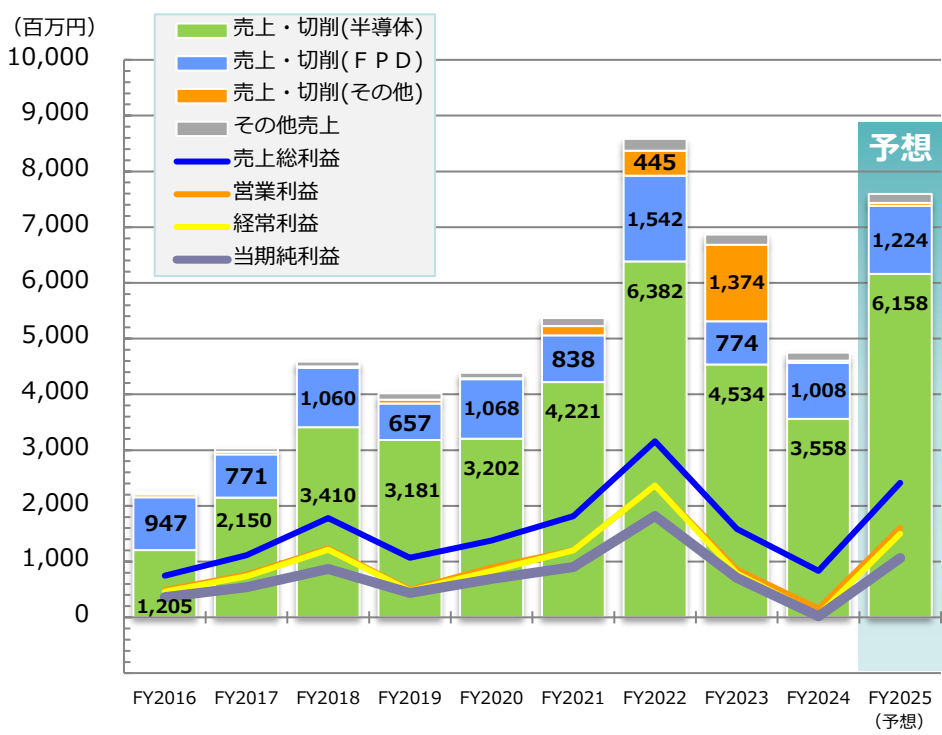
業績
予想

2025年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
第2四半期(累計)	3,650	700	650	462	36.51
通期	7,600	1,600	1,500	1,065	84.16

Point

- ✓ 半導体市場環境改善に合わせた投資再開
- ✓ 全体稼働率には余裕も一部設備ひっ迫
- ✓ 増産投資と人員採用急ピッチ

半導体中心に業績急回復見通し

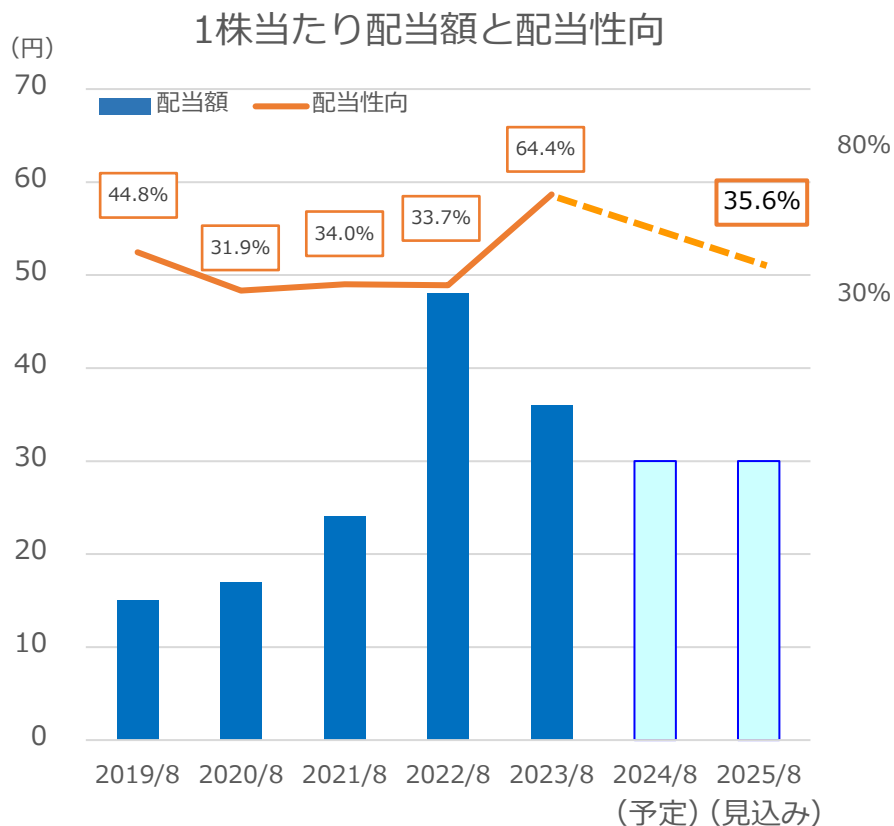


3. 2025年8月期の業績予想

株主還元

配当等

実績と予定



配当政策

- ✓ 新中期事業計画で35%以上の配当性向を予定
- ✓ 最低配当額を年20円(半期10円)の安定配当化

株主優待

- ✓ 半年以上継続保有の株主様へ1,000円分のオリジナルQuoカード提供

当期配当

- ✓ 2024年8月期は上期10円実績、期末20円の合計30円/株の配当予定
- ✓ 2025年8月期は上期15円、期末15円の合計30円/株の配当見込み
- ✓ 事業環境の改善がみられる中、資本効率の向上および安定配当を考慮し配当額を決定

4. 中期事業計画

中期事業計画数値目標修正

4. 中期事業計画

新数値計画

最終年度は2026年8月期で維持

中期事業計画 Innovation2026

数値目標

売上高120億円 営業益36億円

ROIC

資産ベースROIC 20%
負債ベースROIC 18%

配当性向

配当性向 35%以上目標
最低配当額 年間 20円

※本数値は中期事業計画の目標値であり、2026年8月期の公式な予測数値ではありません

4. 中期事業計画

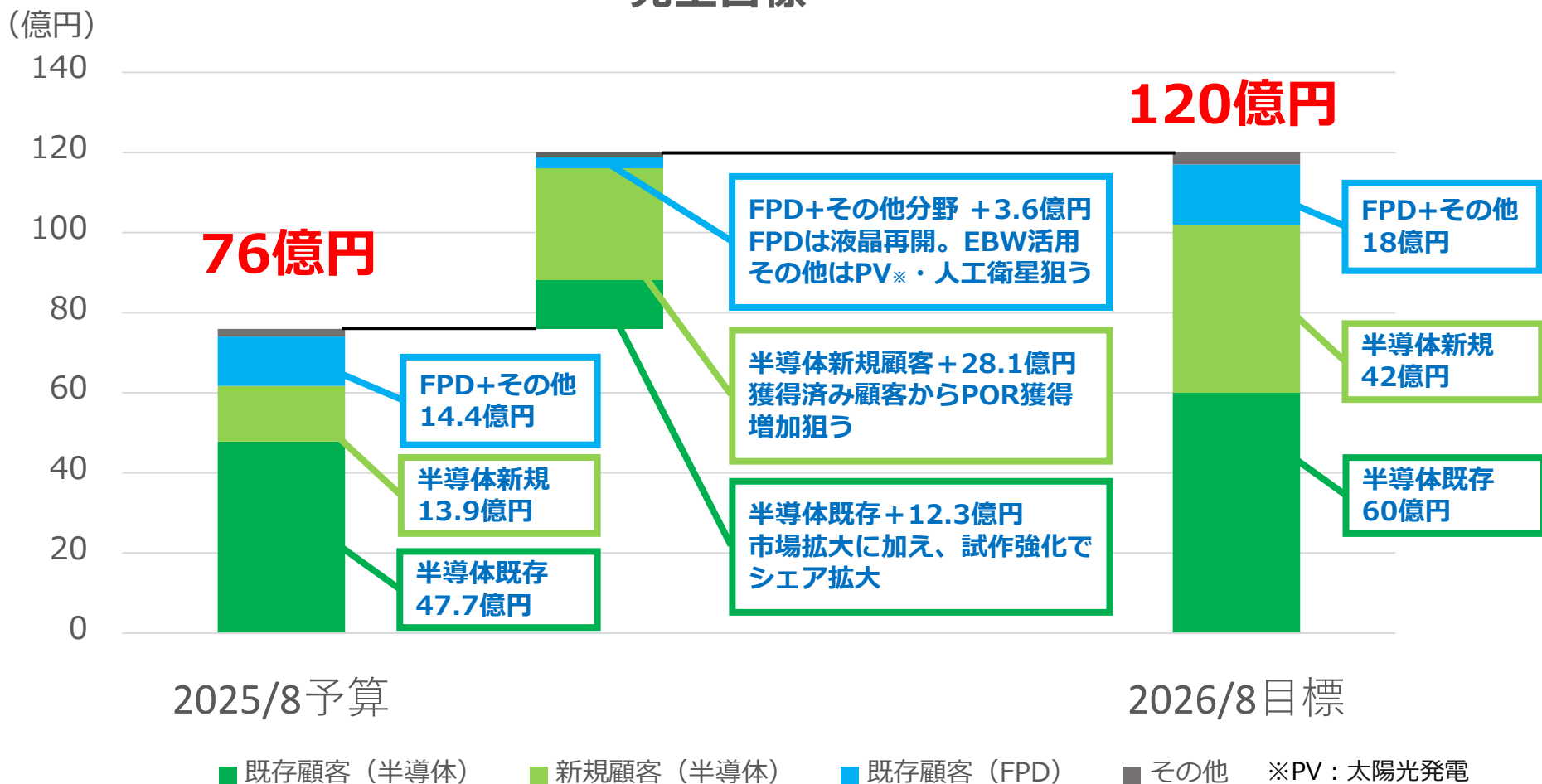
計画見直し

- ✓ 当初の予測に対して、想定外の在庫調整によって受注停滞が長引く
- ✓ 停滞に伴い当社の設備投資計画も先送りし、人材採用も抑制した
- ✓ 先端向け受注が大部分なため、活況な中国向けレガシー需要取り込めず
(なお、直近では中国向けメモリ案件の受注が拡大傾向)
- ✓ 市場は回復中で、在庫調整も進展し受注は再成長中も2026年8月期には
売上高140億円の設備投資と人材採用・育成が間に合わない見通し
- ✓ 目標値を見直して現実的な計画を再策定し、2024年10月11日に取締役会承認

4. 中期事業計画

数値目標 2025年予算から2026年目標へ

売上目標



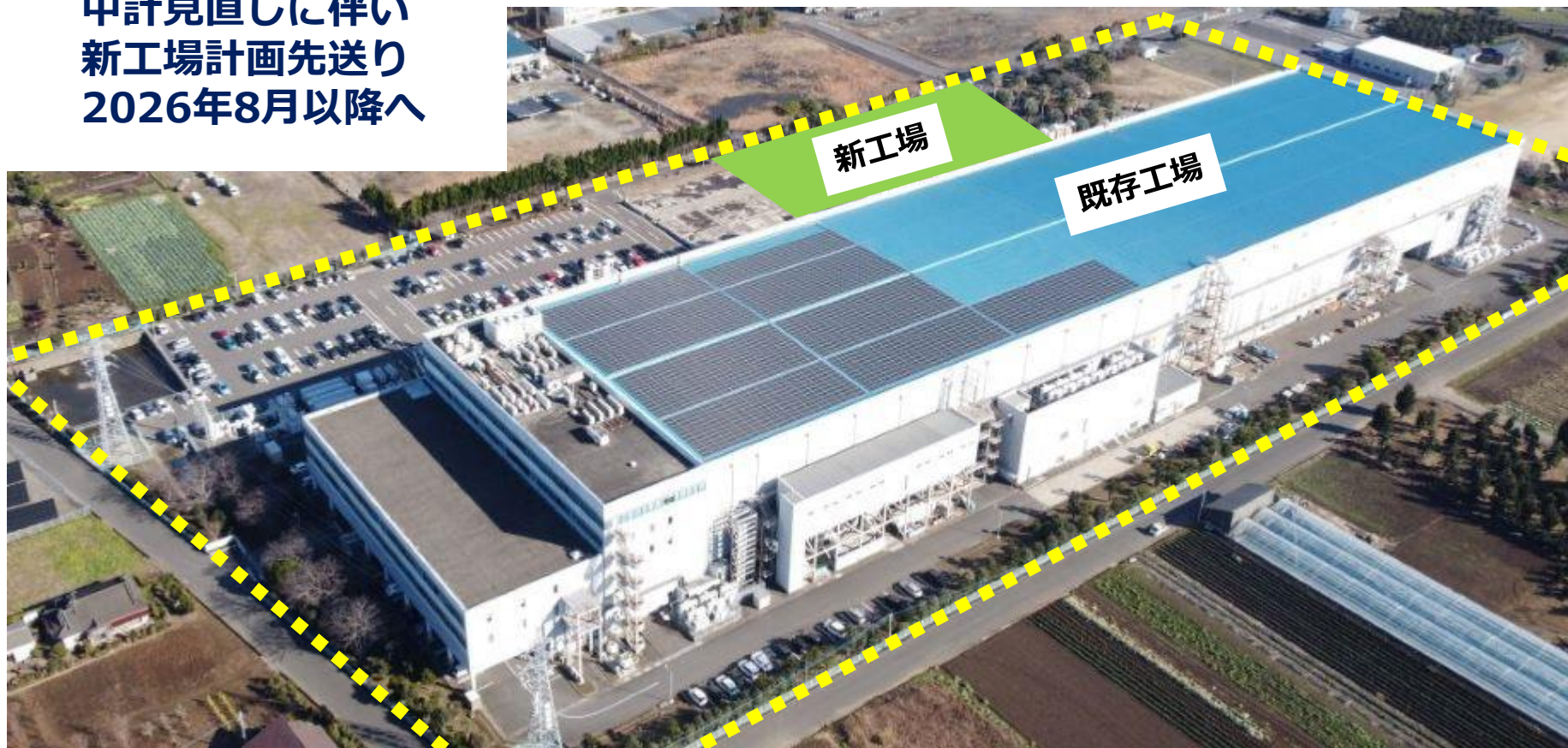
半導体市場の成長に加え、既存顧客シェア拡大と新規顧客のPOR拡大による成長見込む

2026年8月期の数値は中計の目標値であり、公式な予測数値ではありません

4. 中期事業計画

出水事業所（本社）設備投資

中計見直しに伴い
新工場計画先送り
2026年8月以降へ



4. 中期事業計画

目標達成への戦略

生産能力

生産能力計画

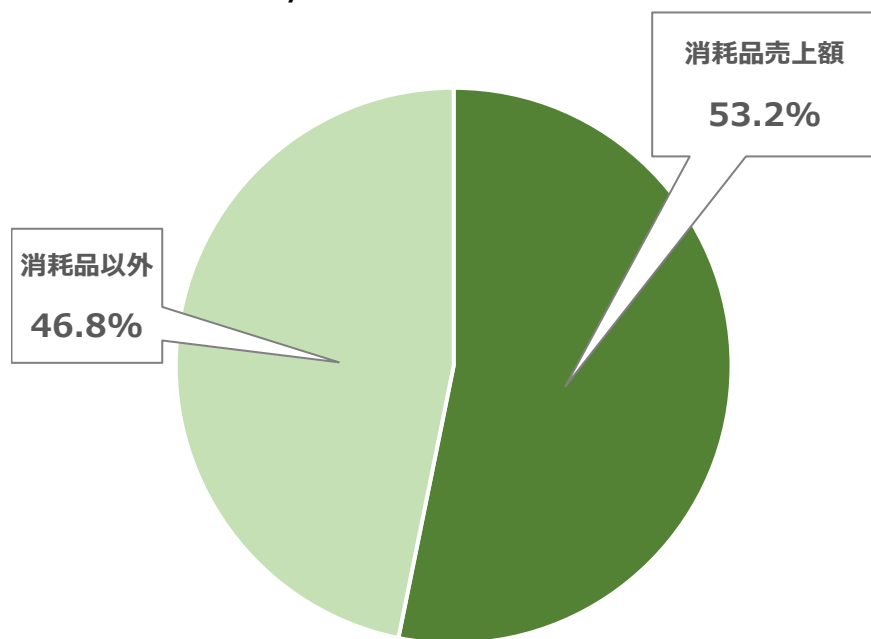
年度	2024/8	2025/8	2026/8
設備投資額予定 (CFベース)	5億円	16億円	18億円
減価償却予定 (製造原価)	8.1億円	約8.7億円	約11.2億円
製造能力（月産） 期末時点予想	半導体 8 億円 FPD等 3 億円	半導体 9.5 億円 FPD等 3 億円	半導体 11 億円 FPD等 3 億円

- ✓ 生産能力は個別の機械能力を単純合算した数値。生産実現には、人材確保育成も必要
- ✓ 2025年8月期は、従業員満足度向上に向けた社員食堂への投資等も含む
- ✓ 本投資額にはカーボンニュートラルに向けた太陽光パネルや蓄電池向けの投資も含む

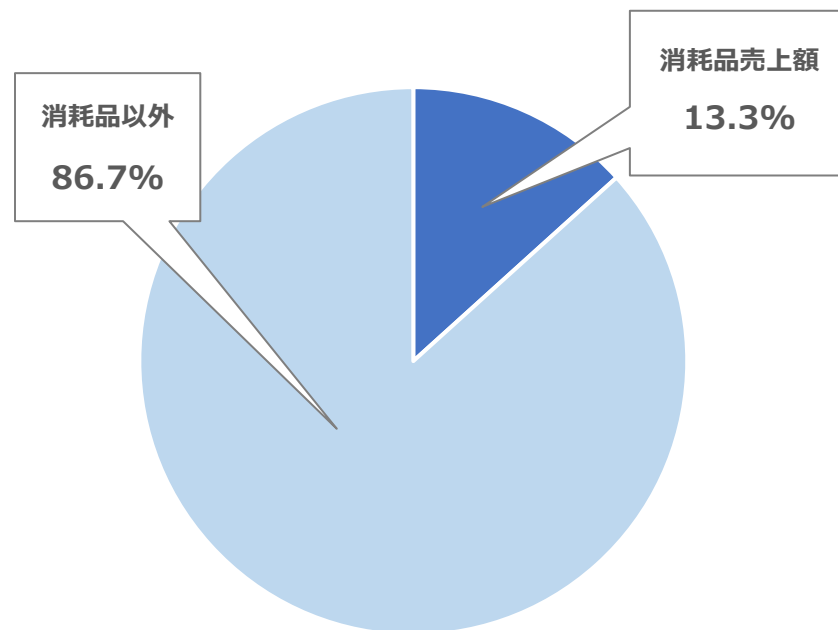
4. 中期事業計画

戦略 ～消耗品受注の拡大～

2024/8期 半導体分野



2024/8期 FPD分野



安定化戦略

消耗品強化で受注安定化狙う

※ 当期は、消耗品の在庫滞留で、半導体分野消耗品比率低下

5. サステナビリティ経営

新目標: 2040年までにネットゼロ達成

ESG

ネットゼロへのロードマップ

サプライチェーン全体でのGHG排出削減に取り組む



5. サステナビリティ経営

人材戦略他

ESG

人材戦略、安全衛生、地域への貢献

成果

人材育成と多様性推進

- ・ 組織的プログラマー教育の継続
- ・ 女性リーダーシップ向上（管理職者比率 11.8% → 15.0% ※）

安全衛生の実効性強化

- ・ 鹿児島県労働局長賞受賞（高尾野事業所）
受賞理由：労災減少と高水準の安全衛生

地域社会との共生

- ・ 4つのネーミングライツ（出水市の公共施設）
- ・ 地域少年サッカー大会支援：次世代育成で地域に根ざす

今後

人材戦略の進化

- ・ 人事課設立による全社教育加速
- ・ 戦略的人材確保に向けた広報活動

※女性活躍推進法に基づく管理職の定義に従い、当期より管理職数の算出方法を変更しました。前期の数値も同じ定義で再計算しています。

5. サステナビリティ経営

ガバナンス

ESG

ガバナンス強化とリスクレジリエンス向上

成果

ISO27001情報セキュリティ認証取得

- ・取締役会の積極的関与で実効性担保
- ・入出退管理システムを出水事業所全館に設置

取締役会多様性維持

- ・女性比率22.2%維持
- ・多様性を持つ取締役会構成で監督型取締役会の強化

今後

次世代経営陣の育成

- ・2024年8月期より諮問委員会で議論開始

全社的リスク管理推進

- ・全社的リスク分析進行中
- ・財務影響測定と開示充実を目指す

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部管理部人事・企画課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Company Profile

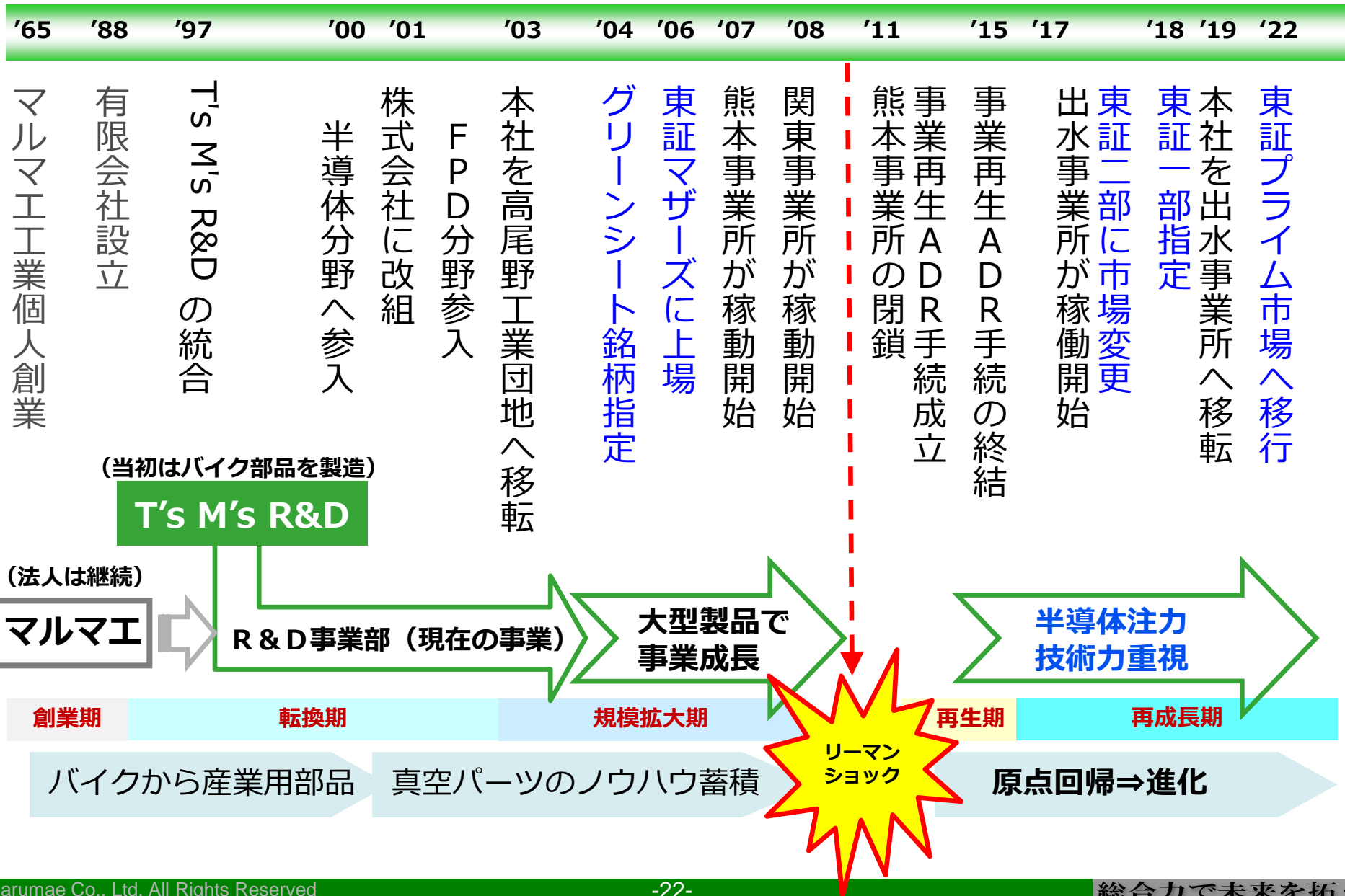
企業情報

参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

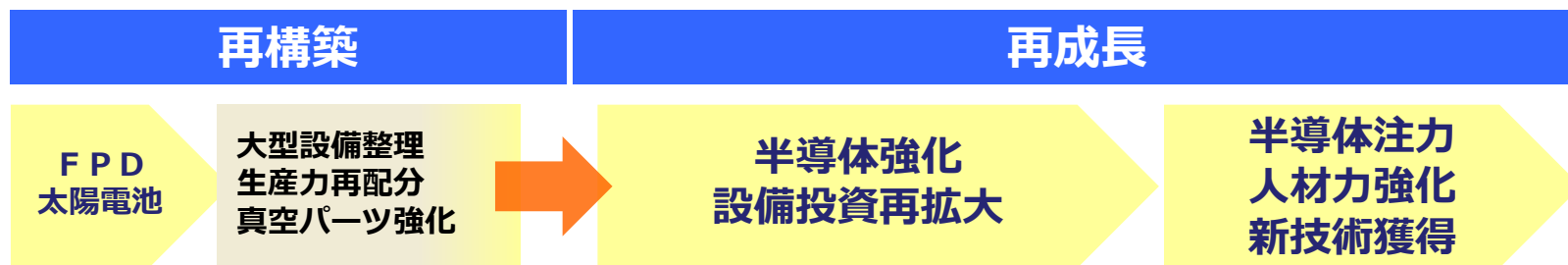
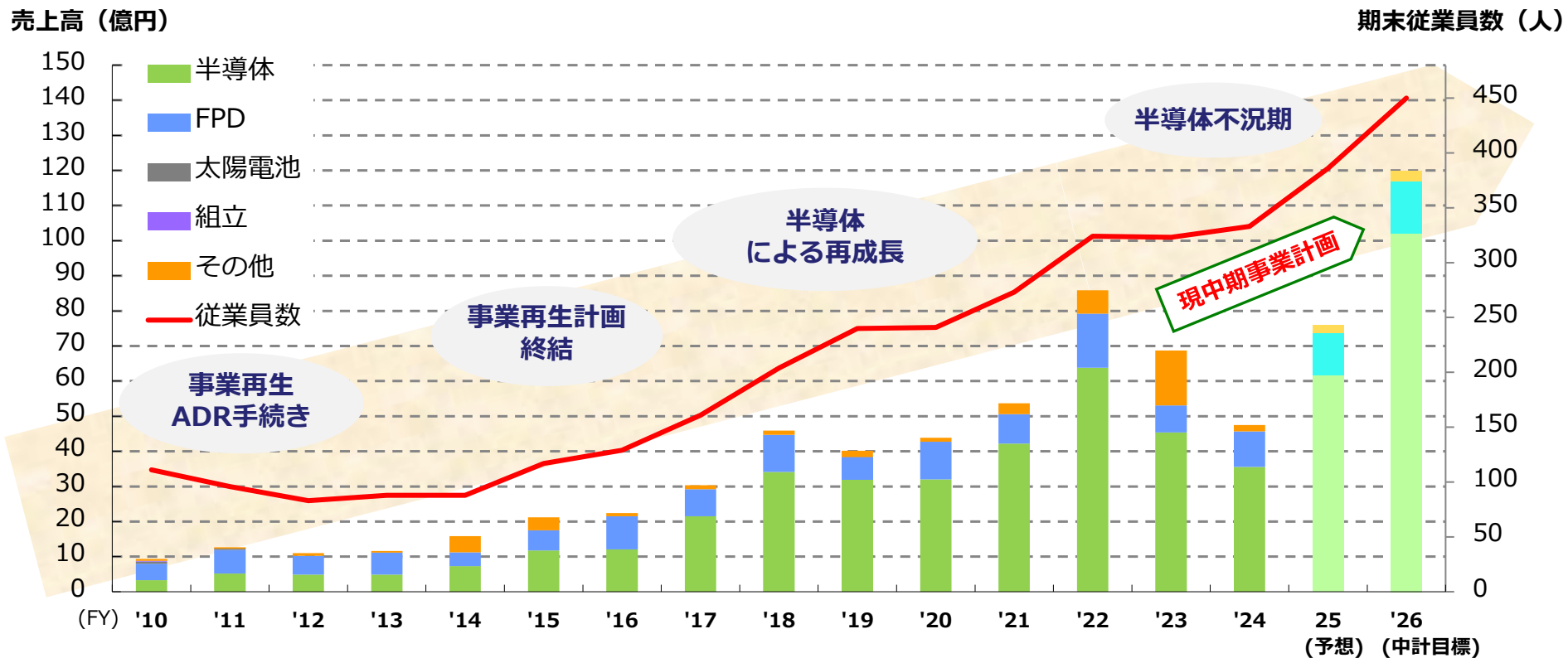


参考資料（沿革と事業変遷）



参考資料（沿革と事業変遷）

事業成長と成長ドライバー



参考資料（現在の事業内容）

主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています

主要工程（半導体）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
洗浄

（FPD）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
洗浄
イオン注入

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2024年8月31日現在）
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役 世耕 久美子 取締役（監査等委員）宮川 博次
従業員数	333名 うち 臨時雇用者等 135名（2024年8月31日現在） 他 派遣社員26名
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	・精密機械、精密機器の設計、製造、加工、組立 ・精密機械部品の設計及び製作 ・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売 ・精密機械部品及び機械装置の点検、修理 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
経営理念	・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する
	経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	10,387名	
大株主 (普通株式)	前田 俊一	4,836,083株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,030,600株
	前田 美佐子	504,000株
	野村證券株式会社	430,100株
	BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSET（常任代理人）	191,202株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	169,000株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	141,200株
	マルマエ共栄会	131,000株
	野村證券株式会社（常任代理人）	87,476株
	（注）自己株式が399,162株あります。 （2024年8月31日現在）	